## 〈記入例1:退職等により未徴収税額を普通徴収に切り替える場合〉

特別徴収義務者指定番号を 記載してください。

		給	i 与	支 払	報	告 になる	公片部	7月.李	4 田	新足	山圭	<del>t</del>												/
		特	<u>.</u>	別(	數 」	収に係る	給与所				山青	i e		年 度		1. 規年		2.	新年	度		3. 両年	F度	
					<u> </u>	所 在 地				601	W =-				特別領 指 兌	収義務者 〒 番 号		) 9	1	2	3	4	5	6
		会津若	松市長	長 様	給 別		云				栄町	[3番	465	<u> </u>	宛名	3 番号		12						
					与 徴 支 収	フリガナ	ア	イヅワ	フカ	マツ					担連	所原	禹	総務	課糸	合与信	<u>系</u>			
					払義	氏名又は名	称 会	<b>津</b>	若	松	株	式会	社		当絡	氏纟	名	会	津:	花	子			
	令和 ▲	、年 <b>I 0</b> /	月 <b>10</b>	日提出	者者。	個人番号 又は法人番	<sub>=</sub> 1 2	3	4	5 6	7	8 9	0 1	2 3	者先	電話	活	024	2-2	3-4	4567	<b>7</b> 内線	(	,
	フリガナ	アイ	ヅ・	イチロワ	ウ	人体位入田	9								·					T		PY称	(	)
給	氏 名	会注	•	一郎			(ア)			(イ)			(ウ)	異	動		±1	. +			異動	後の	未 徴	収
与	生年月日	昭和・平				■日生	特別徴収 (年税額			徴収済	額		収済額 - (イ)	年	月日	兵	動	の事	由		税額	の徴	収 方	法
,	個人番号	4 5 6	7 8	3 9 0	1 2	3 4 5			_					ļ			$\overline{}$							
所	受給者番号	A-12							•	6 月カ	36	10	月から	令和	▲	1	1. 追	Z,	İ	職 勤 欠	3	1. 将	別徴収	継続
得	1/111	会建	告松 <sup>·</sup>	市〇〇	)町()	番〇号			(	<b>9</b> 月ま	きで	5	月まで	1 1	<b>9</b> 月	右から	4. 死 5. 支	E 支払少額	<ul><li>不定</li></ul>	亡 期	右から	2. –	·括復	散 収
者	現在の住所						125,0	100		45,00	10	80	,000	┪ "		番号を 記入	6. 合 7. そ Γ	子 併・		散 他 了	番号を 記入	3.) 普	- 通 復	数 収
	異動後の 住 所	福島ī	市〇	〇町〇	(番(	号	123,0	円 円		+5,00	円	80	,000 <u>,</u> 円		<b>30</b> <sub>目</sub>	事由・理師	# L					(	本人納	付)
1.	特別徴収継網	続の場合								$\overline{}$														
	特別徴収					(新 対	見 法/	、番号									l —	い勤務先 	-		_			円を
新し	(					担所					<del></del>			$\parallel$ $\square$	月分( 月 10 日納入期限分)から					)				
い勤	图 所 住	地			_						当属						徴収	又し、納力	、するよ	う連絡	済みて	す。		
務	務	ガ ナ				9月30日:	退職で	9月4	<b>分</b> 言	まで\$	+別:	徴収	した終	与所	得者		受約	給者番号	클					
先	大名又は	は名称				の残りσ	)税額(	り徴	収え	方法を	£10	月分:	から書	通徴	収に			書の要得場合にのみ記		右が号を	<sup>から番</sup> と記入 1.	必要	2.不	要
_	打御 中の	я Л				変更する		1	25	. 000	т (	G 🗖 -	. 33 左 (	ᅠᅟᅟ			OBTAGES		J4947					
	一括徴収の場	易合 動が令和	年1	2月31日ま	-75-75	(ア)年 (イ)徴		i	45 45	, 000 ; 000	円(	0月~ 6日~	·翌年! ·9月分	と) o H 辺.	)	額		左記	の一括	徴収し	た税額	įα,		
理	1. 共	到7/3 口 仁	+1	.4Д 31 Ц 3		(ウ)未	徴収済	額	80	, 000	円(	10月	~翌年	, 5月タ	子)	司額)			月分(		月 10	日納入	期限分	j)で
由	右から番 2. 異見 号を記入	動が令和	年1	月1日以隆	锋で、特						71	Н		- •		J	円	納入	します。					
3.	普通徴収の場	場合											*							宛	i 名	番	: 長	1.
理	<b>1</b> ①異真	動が令和			-	・括徴収の申出							町村											
+	2. 令 たから番 2. 令 だっ				払われる	べき給与又は	退職手当等	の額が	未徴	收税額	(ウ)以	下である	ため記						_	l		1		
由	号を記入 3. 死	_ による返	4敗 ぐめ	<i>⊲/⊂≪)</i>									欄											

## 〈記入例2:退職等により未徴収税額を事業所で一括徴収する場合〉

特別徴収義務者指定番号を 記載してください。

	給 与 支 払 特 別 :	、報告 と係る給与所得者 となる	<b></b> 子異動届出書	年 度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度	
	会津若松市長 様	所 在 地 <b>会津</b> 老	-860  f松市東栄町3番46 ワカマツ <b>若松 株式会社</b>	指定       宛名       担連	шу	0 9 1 2 12 総務課 給与 会津 花	係	
	令和 ▲ 年 12 月 10 日提出	者 着 個人番号 I 2 3	4 5 6 7 8 9 0 1	2   3     者先	電話	0242-23-		
給与	A A A M	(ア) 特別徴収税額 (年税類)	(イ) (ウ) (大) (ウ) (ウ) (ウ) (ボック) (ボック) (ボック)	異動 年月日	異動	の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法	
所 得 者	現在の住所	)町〇番〇号	6 月から     12 月から       11 月まで     5 月まで		3. 4. 右から 5. 番号を 6.	転 勤 休 職 · 長 欠	2 1. 特別徴収継続 右から 2. 一 括 徴 収 番号を 記入 3. 普 通 徴 収	
	異動後の 住 所 福島市〇〇町〇 特別徴収継続の場合 特別徴収義務者		65,000 60,000	30 🛮	事由・理由	「しい勤務先へは、月割	(本人納付)	
新しい勤務	11月30日退職で12月20の税額の徴収方法を12月20日		<sup>∙</sup> る場合			月分( 月 10 数収し、納入するよう連絡 受給者番号	゜┃を記載してくフ	⊍職は、原則一括徴
2.	※ (イ)徴収済額 65 (ウ)未徴収済額 60 (ローラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5,000円(6月~11月分) 0,000円(12月~翌年5月2 ↑一括徴収税額(納入額。	分)	内線(	裕	L	から番 号を記入 1. 必要 2.不要	
理由		までで、一括徴収の申出があったため 降で、特別徴収の継続の申出がないため	微収予定年月日   <b>2</b> 月 <b>25</b> 日	徴収予定 (上記(ウ)と「 <b>60</b>	額 司額) <b>,000</b> 円	<b>I2</b> 月分( <u></u>	月 10 日納入期限分)で	
理		までで、一括徴収の申出がないため 払われるべき給与又は退職手当等の額が	※ 市町 村 記 未徴収税額(ウ)以下であるため 記 人 欄				宛 名 番 号	

## 〈記入例3:転勤等により新しい事業所で特別徴収を継続する場合〉

特別徴収義務者指定番号を 記載してください。

給 与 支 払 特 別 徴	に係る給与所得者異動	J届出書 年度 E	1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度	
	年 次 フリガナ <b>アイヅワカマ</b>	東栄町3番46号	特別飲収義務者 指定番号     0 9 1 2 3 4 5 6       宛名番号     12       所属     総務課 給与係	
	A m       A m   <	<b>株式会社</b>	出版     大名     会津 花子       者先     0242-23-4567	
プリガナ     アイヅ イチロウ       給     氏名     会津 一郎       与     生年月日     昭和・平成 ▲▲ 年 ●●	(ア) 特別徴収税額 (年税額) (年税額)	(イ)     (ウ)       未徴収済額     異 !       (ア) – (イ)     年月		价存在 ☐
所 個人番号 4 5 6 7 8 9 0 受給者番号 A-I23 得 現在の住所 会津若松市〇〇 日	町○番○号	000 50 000	▲ 年 2 (2.) (2.) (2.) (2.) (4. 元 ) (3. 元 ) (4. 元 ) (4. 元 ) (5. 元 ) (	
1. 特別徴収継続の場合	6 7 8 新規 法人番号 9 8 老内町3番1号 フクシマ 社 福島	8 7 6 5 4 3 2 1 0 世 世 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田		
	で、一括徴収の申出があったため で、特別徴収の継続の申出がないため		(徴収予定額 記(ウ)と同額)	
	で、一括徴収の申出がないためわれるべき給与又は退職手当等の額が未徴収を	※ 市 町 村 税額(ウ)以下であるため 記 入 欄	新しい会社で特別徴収を開始するその月割額を記載してください。	5月と